

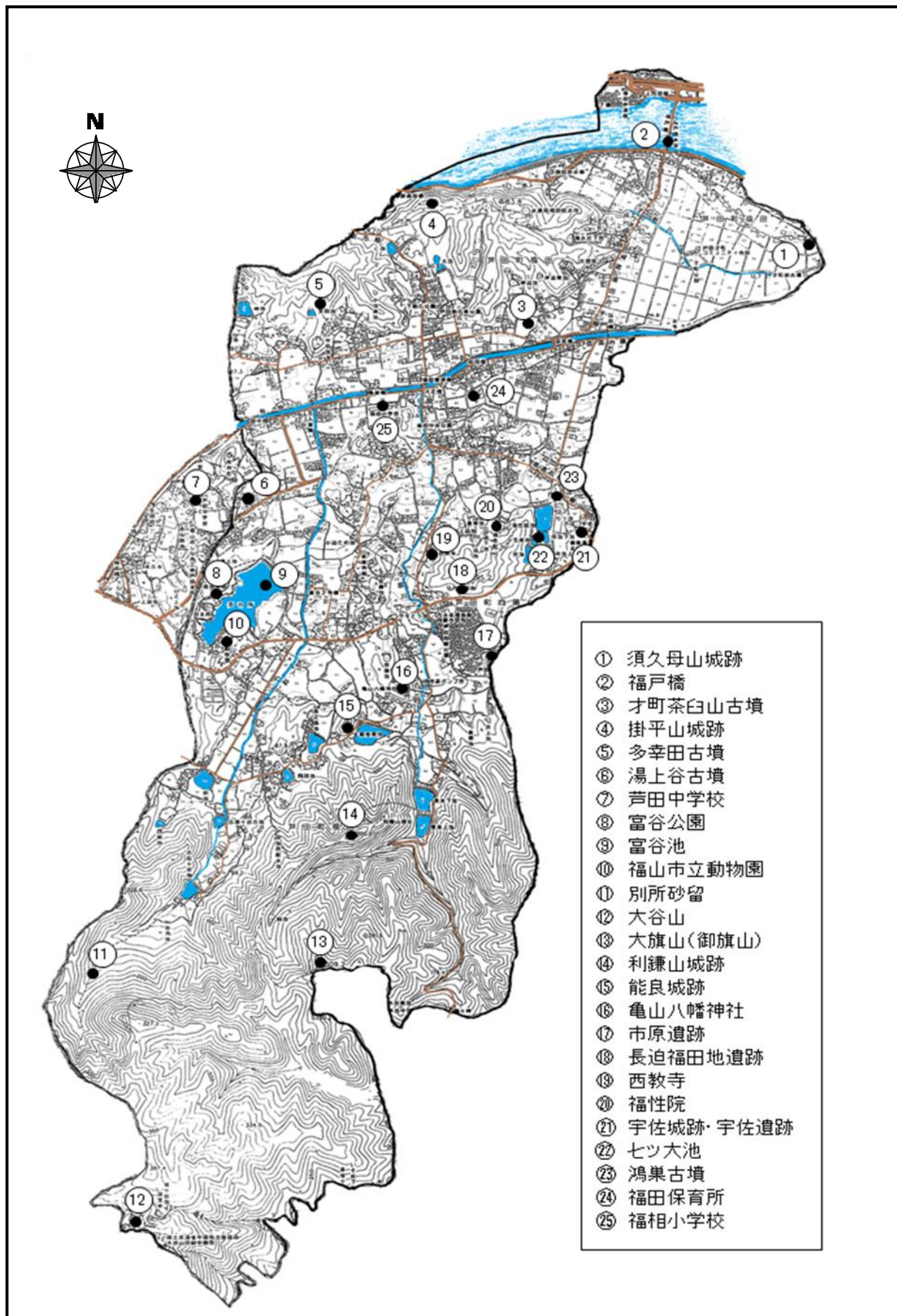
活力と希望があふれる福相学区をめざして

福相学区まちづくり計画



2015年（平成27年）4月
福相学区まちづくり推進委員会

福相学区の地図



目 次

1	まちづくり計画策定にあたって	1 ページ
	(1) 計画策定の目的	
	(2) 計画の位置付け	
	(3) 計画の期間	
	(4) 「協働のまちづくり」とは	
	(5) まちづくり計画策定の体制	
	(6) アンケートによる住民の意識調査	
2	福相学区の概要	2 ページ
	(1) 地 勢	
	(2) 世帯数と人口の推移	
	(3) 高齢化率の推移	
	(4) 福田保育所入所児童数・福相小学校児童数・芦田中学校生徒数の推移	
3	福相学区の現状と課題	4 ページ
4	アンケート結果とこれを基に住民学習会で話し合われた概要	4 ページ
	(1) 住みよいと感じられること	
	(2) 住みよくするための意見・思い	
5	アンケート結果と住民学習会での主だった意見から	5 ページ
6	まちづくり計画の推進	6 ページ
	(1) 計画の推進	
	(2) 住民の参加と協力	
7	活動方針	6 ページ
	(1) 安心して安全なまちづくり	
	(2) ふれあい支え合いのあるまちづくり	
	(3) 活力のあるまちづくり	
8	今後の活動に向けて	10 ページ
9	資料編	11 ページ
	(1) まちづくり計画策定委員名簿	
	(2) まちづくり計画策定の経過	
	(3) まちづくり計画アンケートのまとめ	
	(4) まちづくり活動の様子	

1 まちづくり計画策定にあたって

(1) 計画策定の目的

これまで、「まちづくり」は行政主導で行われてきていましたが、全国的に少子高齢化・人口減少が進展し、福山市においても、今後、現在と同じ様な市民サービスの提供を継続して受ける事は困難な状況のなか、「ずっと住み続けたい」、「住み続けることができる」持続可能な「まちづくり」を行っていくためには、市民運動の主体となる「まちづくり推進委員会」を中心に、市民・ボランティア・学校・行政等と互いの役割を認識し、連携しながら、より良い地域づくりを行っていかねばなりません。

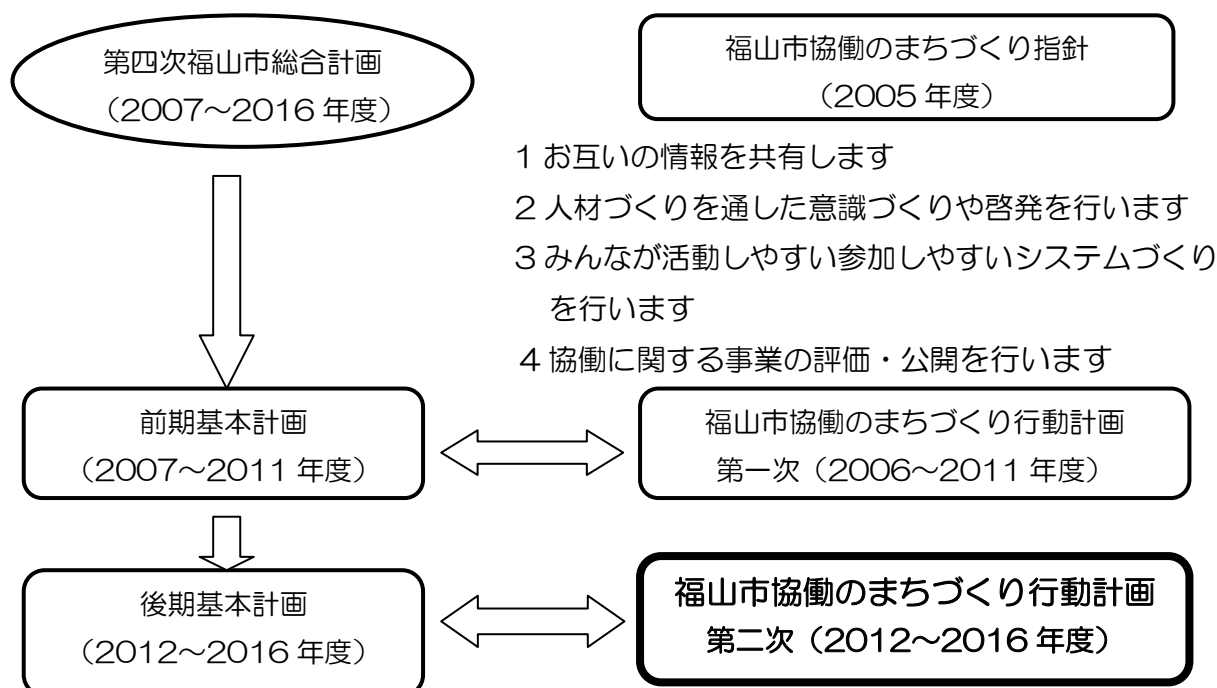
そのためには、まずそこに暮らす住民の皆さんが、自分たちの住む地域を見つめ直し、地域のめざすべき将来像や地域課題をお互い出し合い、地域に住む皆さんで共有する必要があります。

そのため、この度、地域の皆さんにご協力をいただいたアンケート調査や、住民学習会等で話し合っていたいただいた地域の現状や解決すべき課題などを共有し、地域全体で取り組む際のよりどころとするために、福相学区まちづくり推進委員会が策定したものです。

(2) 計画の位置付け

福山市は、この度、市制 100 周年となる 2016 年度（平成 28 年度）に向けどのような「まち」をめざしていくのか、そのためにはどんなことに取り組んでいく必要があるのかなど、まちづくりの方向性や重点項目を定めた「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定しました。

その行動計画の重点項目のなかで、福山市が各学区（まちづくり推進委員会）に策定を求めているのが「地域まちづくり計画」です。



(3) 計画の期間

福相学区まちづくり計画は、新しい地域づくりを実現するために 2015 年度（平成 27 年度）を初年度に、2019 年度（平成 31 年度）までの 5 年間を目安とします。ただし、社会情勢の変化や住民ニーズの変化等にも対応するため、必要に応じて見直すものとします。

(4) 「協働のまちづくり」とは

住民一人ひとりがまちづくりの主演として、それぞれの特色や個性を活かし、お互いに責任と役割を分担しながら取り組む「自助」「共助」「公助」によるまちづくりをいいます。

自 助	共 助	公 助
自分たちで出来る事に 取り組む	自分たちで出来にくいことを 行政と協力し合って取り組む	学区での取り組みが 難しいもの
住民主導	相互に協力 住民主導 ←→ 行 政	行政主体

(5) まちづくり計画策定の体制

まちづくり計画策定の主体は、まちづくり推進委員会が担うものですが、策定にかかわる調査・検討は「福相学区まちづくり計画策定委員会」を設置して策定することとしました。さらにこの策定委員会の中に実務を担当するワーキンググループを設置し、策定にかかわる学区民の意見や思いを広く聴くためのアンケート項目の検討や回答された意見の集約等の任務を担当し、策定委員会に提案するための資料を作成しました。

(6) アンケートによる住民の意識調査

実施期間 2013 年 2 月 15 日～3 月 8 日

町内会世帯数	回答世帯数	回答率
1,216	1,295	106%

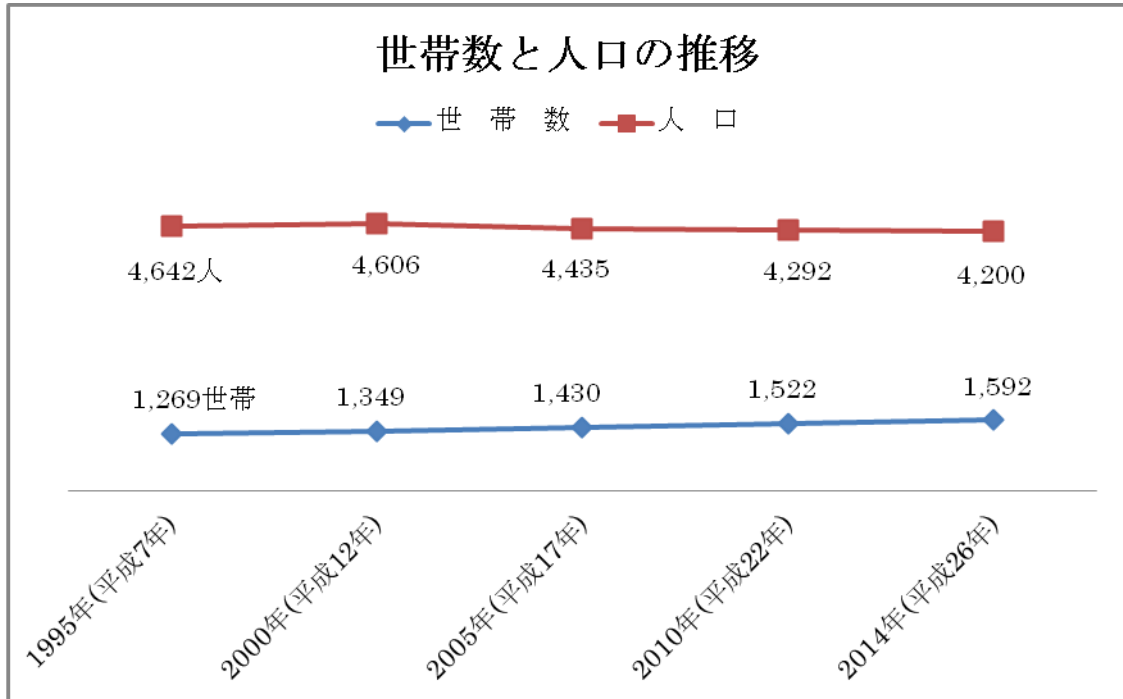
アンケート結果 ……………資料編に添付

2 福相学区の概要

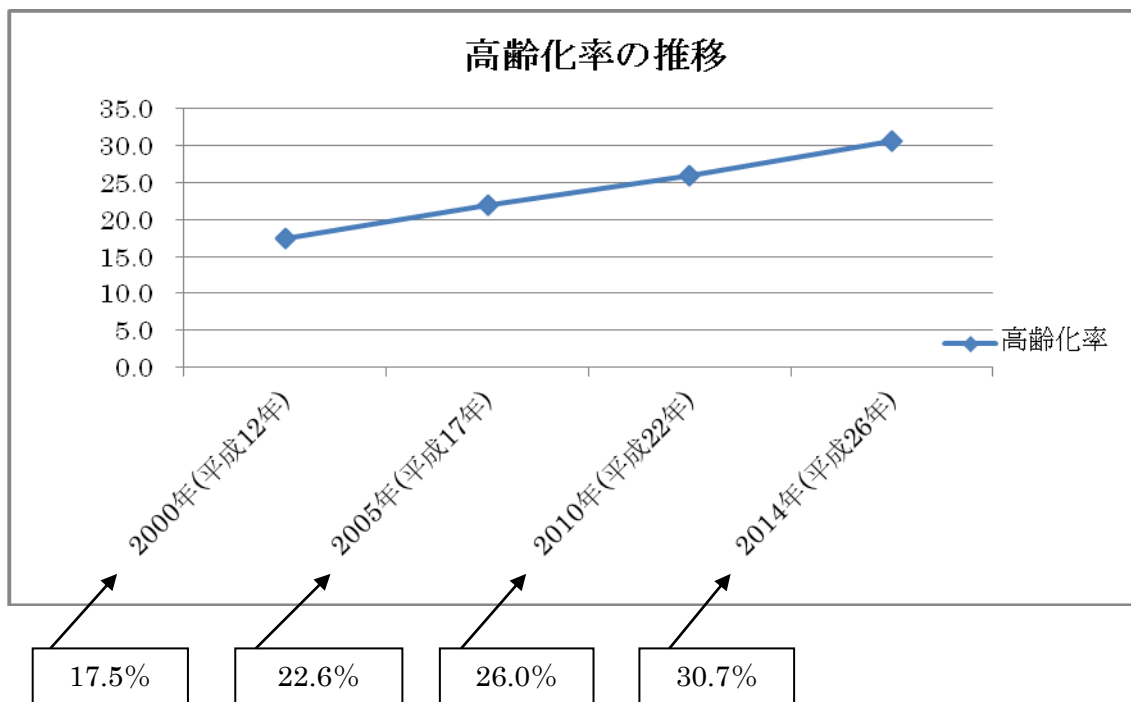
(1) 地 勢

福相学区は福山市の北西部、東経 133 度 17 分、北緯 34 度 31 分（福田公民館）に位置し福山市市街地の中心部から直線で北西約 10km、車で約 30 分の距離にあり、南には大谷山山系の山々、北は一級河川の芦田川に挟まれ、学区内の中央を西から東へ有地川が貫流し緑の多い自然環境に恵まれた学区で、周囲は、東に駅家町、西は芦田町有磨学区、南は赤坂町・松永地区、北は新市町に接し総面積 7.21 km²で農地と住宅が混在している人口約 4,200 人の地域です。

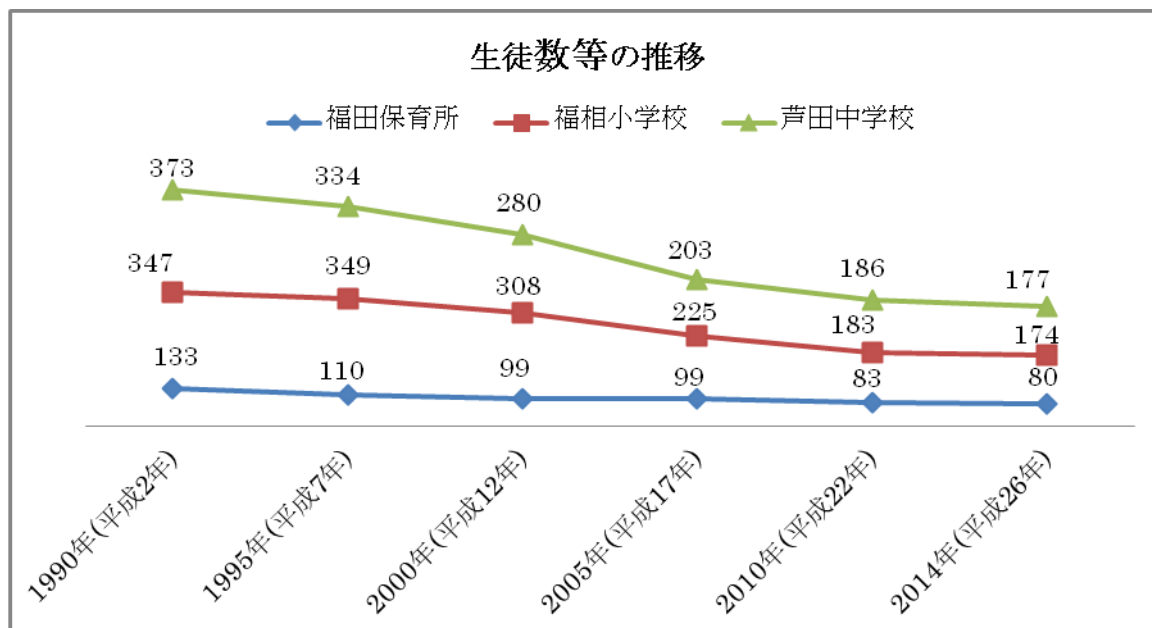
(2) 世帯数と人口の推移（人口：各年3月末現在）



(3) 高齢化率の推移（人口：各年3月末現在 高齢化率＝65歳以上/全体人口）



(4) 福田保育所入所児童数・福相小学校児童数・芦田中学校生徒数の推移（単位：人）



3 福相学区の現状と課題

芦田町の産業は農業を中心に、備後緋の発祥の地として戦前・戦後を通じ家庭内労働を中心に発展し、併せて繊維産業も隆盛を極め、地域の基幹産業として多くの雇用が確保されてきました。しかし、繊維産業をはじめとし産業構造の変化により事業所が減少し、就労先も学区外が大多数となってきています。

福相学区においても若者の流出や核家族化・少子高齢化が進み、昼間は高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯が多くなっており、災害時の支援要請や避難行動にも不安をかかえています。

また、公共交通機関(バス)の便数の減少や商店の減少などにより日常生活の不便さに不安をかかえています。

さらに、学区内の道路網の整備も十分ではなく、緊急車両の走行にも支障があり防犯灯や横断歩道の整備が望まれています。

4 アンケート結果とこれを基に住民学習会で話し合われた概要

(1) 住みよいと感じられること

- ① 自然環境が良く災害も少なく子育て環境に恵まれている。
- ② 住民の挨拶も良く、特に子どもが大きい声であいさつができ住みやすい。
- ③ 新しく来た人も以前から住んでいる人とも良好な交流ができています。

(2) 住みよくするための意見・思い

- ① 日常生活においても安全でしかも安心して暮らせるためには、緊急車両が入りやすい道路網の整備・通学路の安全確保のための街路灯や歩道等のインフラ整備が望

まれる。

- ② 高齢化社会と核家族の進展により、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、日常生活にかかわる買物や通院等に不便をきたしている。

また、災害発生時の緊急避難行動ができにくい不安をかかえており、地域実態に応じた防災・減災・災害時の支援対策が望まれる。

- ③ 学区内の各種行事もマンネリ化しており、しかも役員は参加協力が得にくく苦痛を感じている。

また、「まちづくり」事業で行なっている各事業も認知度が低く啓発が必要。

- ④ 地域で子どもを育てるという観点で子どもが安心して健康に成長できるような見守り活動や、子育て中の親子の交流が図られる場所作りの支援対策が望まれる。

- ⑤ 高齢者が生きがいを持って日常生活を過ごすために地域交流が図れる「いきいきサロン」や、また、三世代交流（高齢者・親・子）により、共に楽しみと生きがいを感じられるような仕組みづくりの充実が望まれる。

- ⑥ 学区内にある歴史的資源・地域資源を広く紹介し、これらを活用し地域に愛着を持てるような活動の展開を図ることが望まれる。

5 アンケート結果と住民学習会での主だった意見から

分野	主な意見
安心して安全なまちづくり	<p>* 少子高齢化社会が進むなかで、子どもたちを安心して育てられる地域社会をめざす。また、核家族化による高齢者を取り巻く環境は厳しさが増し、地域の実態に応じ継続性のある支援が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害を想定した危険箇所の把握と避難場所の周知。避難行動要支援者の把握と日常的な見守りや声かけ。学区や地域で災害を想定した訓練の実施。・ 登下校時の安全確保の見守りや通学路整備（歩道・街路灯等）が必要。・ 緊急車両が安心して通行できる道路網の整備が必要。
ふれあい支え合いのあるまちづくり	<p>* 高齢化社会が進むなか、高齢者が安心して暮らせる支援や生きがいを感じることができる行事等の仕組みづくりが必要。</p> <p>ふれあい</p> <ul style="list-style-type: none">・ 高齢者・子育て中の親が交流できるサロンや三世代交流が図れる事業。 <p>支え合い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 買物・通院等日常生活に不便や不安を抱えている高齢者や障がい者の支援。・ 高齢になっても健康で元気で生活するために健康づくりや介護保険制度

	の学習。
活力のあるまちづくり	<p>*学区民の交流を図るため、年齢・男女を問わず多くの人が気軽に参加でき、楽しさが実感できるような行事の取り組みが必要であり、行事の運営も役員のみならずボランティアの参加も得て活動の輪を広げていく。</p> <p>*学区民参加により、地域資源を広く紹介するとともに学区内の資源を大切に活動の輪を広げていく。</p> <p>活力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢・男女を問わず多くの人が参加でき交流が図られる事業。 ・事業を多くの人に知ってもらう情報提供や行事の運営支援をするボランティアの募集や人材の発掘。 <p>地域資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区民参加による地域資源の活用の方法や資源の紹介をするなど、広く学区の資源を大事にする取り組み。 ・資源再利用への取り組みやごみポイ捨て禁止運動、河川清掃や河川を利用した花いっぱい運動の展開。

6 まちづくり計画の推進

活力と希望があふれる福相学区をめざして

(1) 計画の推進

事業の推進にあたっては、関係機関・各種団体やボランティアなどと連携して行ないます。

(2) 住民の参加と協力

まちづくり計画の実施については、「自助」「共助」「公助」を基本に一人ひとりが可能な役割を理解しながら、多くの参加者により持続可能な事業展開が図られるよう情報の共有化を図り啓発や活動に取り組みます。

7 活動方針

(1) 安心で安全なまちづくり

◆目 標

- ①災害に強く、犯罪のないまち
- ②子どもたちを地域全体で育て、見守るまち
- ③高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
- ④交通事故のないまち

◆展 開

- ・世界的異常気象や南海トラフ等を震源とする巨大地震等、いつ発生するかわからない自然災害や近年凶悪犯罪が増加するなかで、学区全体で生命・身体・財産を災害や犯罪から守るための防災・減災・防犯の取り組みをします。
- ・世界で類を見ない少子高齢化が進行するなかで、子どもは国や地域の宝であり、見守りや挨拶などの声かけ運動を通じて、子どもたちに夢と希望と勇気を与え、そして避難行動要支援者や高齢者等の安否確認の声掛け活動を推進します。
- ・モータリゼーションが進むなかで、国や自治体の財政状況が厳しく道路整備が進まない現在、英知を結集して痛ましい交通事故のないまちづくりを進めます。



ボランティアによる登校時の見守り



自主防災組織による防災訓練

具体的な事業と役割分担及び開始予定

【短期は1年（継続していく事業を含む）・中期は3年・長期は5年を目安とする】

事業種目	具体的な事業名	実施主体			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期
安心・安全推進事業	自主防災活動	○	○				○
	防犯活動	○	○				○
	見守り活動	○	○				○
	交通事故のないまちづくり	○	○				○

(2) ふれあい支え合いのあるまちづくり

◆目 標

- ①少子高齢化社会が進むなか、子ども・高齢者・障がい者・外国人など全ての人が尊重し合い、安心して暮らせ、生きがいを感じることができる場面づくりや仕組みづくりに取り組みます。

◆展開

- ・高齢者や大人が地域の子どもたちと交流し、多様な生活の知恵を伝え相互に学び合いながら楽しさや生きがいを感じられる事業に取り組みます。
- ・子育ての中の親子が集い遊びをしながら育児・健康等の思いを話し合い、交流ができる活動支援の仕組みづくりに取り組みます。
- ・高齢化社会が進むなか高齢者や障がい者が集い座談会やスポーツ・作品づくり・料理等を通じ、健康で楽しく生きがいを感じられ、交流が図られる事業に取り組みます。
- ・高齢者世帯の見守りや声かけ運動を進め、さらには行動支援のための仕組みづくりに取り組みます。
- ・地域住民が人権を尊重し合い、住みよい地域づくりをめざす人権啓発活動を推進します。



「ご長寿を祝う会」の演芸



「ふれあい教室」のお楽しみ音楽会

具体的な事業と役割分担及び開始予定

【短期は1年（継続していく事業を含む）・中期は3年・長期は5年を目安とする】

事業種目	具体的な事業名	実施主体			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期
子育て支援事業	教育講演会	○			○		
	抹茶教室	○			○		
	子育てサロン	○				○	
	親子のふれあい事業	○			○		
ふれあい事業	生活潤い教室	○			○		
三世代交流活動	芋植え体験	○			○		
	子ども広場	○			○		

地域福祉活動	ふれあい教室	○			○		
	グラウンドゴルフ大会	○			○		
	健康講座	○			○		
	交通安全講座	○			○		
	防災講座	○			○		
	地域サロン活動	○			○		
支え合い事業	お出かけ支援事業		○				○
	見守り・声かけ運動	○			○		
人権啓発推進事業	地域別住民学習会	○			○		
	人権の集い	○			○		

(3) 活力のあるまちづくり

◆目標

- ①学区民の交流を図るため、年齢・男女を問わず多くの人が気軽に参加でき、楽しさが実感できる行事に取り組みます。
- ②地域資源を広く紹介するとともに学区内の資源を大切にする活動の輪を広げていきます。

◆展開

- ・年齢・男女を問わず多くの人が参加でき交流が図られる事業に取り組みます。
- ・事業の情報提供や事業の運営支援をする人材の募集や発掘に取り組みます。
- ・環境美化活動を推進し、美しいまちづくりにつながる事業に取り組みます。
- ・歴史的資源・地域資源を活用し、地域に愛着を持てるような事業に取り組みます。



学区盆踊り大会



別所砂留の整備ボランティアの皆さん

具体的な事業と役割分担及び開始予定

【短期は1年（継続していく事業を含む）・中期は3年・長期は5年を目安とする】

事業種目	具体的な事業名	実施主体			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期
活力の推進	芦田音楽祭	○			○		
	盆踊り大会	○			○		
	福相学区運動会	○			○		
	ふれあい文化祭	○			○		
	ボランティア活動事業	○			○		
	コミュニティ育成事業	○			○		
環境美化活動	資源再利用	○			○		
	健康づくり事業	○			○		
	環境美化啓発事業	○			○		
地域資源による活力	地域資源の活用		○		○		
	地域資源整備事業		○		○		
	里山・里地魅力づくり事業	○			○		

福山市立動物園（みらくりん）と（♀かりん）

別所砂留 4番砂留の桜



8 今後の活動に向けて

今後事業を実施していくなかで住民の意見や思いを活かしながら、既存の事業の見直しや充実ができるよう推進体制の確保と合わせて協議します。その場合は、まちづくり推進委員会の構成団体の意見をいただきながら学区の実情に合った事業となるよう対応していきます。

9 資料編

(1) まちづくり計画策定委員名簿

※はワーキンググループ（2012年度～2014年度）

名 前	所 属
江 草 清 士	町内会連合会長
渡 辺 利 行	元町内会長
※ 岡 田 紀 幸	元町内会長・まちづくり推進委員会委員
※ 小 野 明 人	まちづくり推進委員会委員・民生児童委員
※ 小 野 乃 史	町内会長・まちづくり推進委員会委員長
※ 小 野 昌 昭	消防団芦田東分団 分団長
※ 國 頭 敬 市	町内会長
※ 陶 山 智 恵	元小学校PTA副会長
※ 玉 崎 猛	町内会長
※ 高 田 恭 臣	まちづくり推進委員会委員・ボランティアの会
※ 高 橋 郁 枝	子ども教室指導員
※ 武 安 陸 友	町内会長
※ 千 葉 哲 朗	在住教職員
※ 廣 中 和 子	まちづくり推進委員会委員
※ 松 岡 加代子	在住行政職員
※ 光 成 良 秀	町内会長・ボランティアの会
※ 光 成 正 純	まちづくり推進委員会委員
※ 麦 田 幹 雄	元町内会長
※ 安 原 勝 之	消防団芦田東分団 副分団長
※ 横藤田 守	元町内会長
※ 光 成 宏 尚	福田公民館
※ 阿 野 幸	//
※ 光 成 真由美	//
※ 高 橋 文 子	北部生涯学習センター

(2) まちづくり計画策定の経過

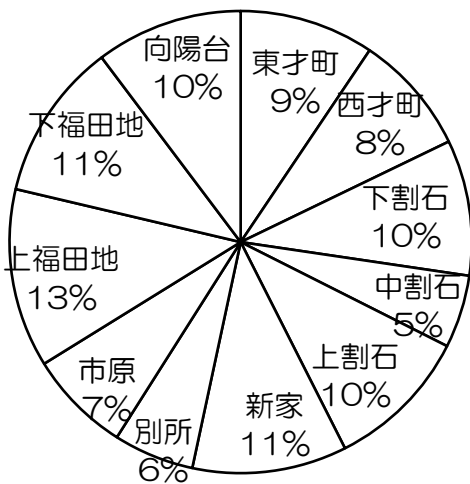
月 日	会 議	内 容
2012年 4月24日	まちづくり推進委員会総会	まちづくり計画策定については、役員会で協議する
7月 4日	まちづくり推進委員会役員会	まちづくり計画策定については、アンケート等により住民の意見や思いを広く聞くことが必要である。策定業務にかかわるメンバー(WG)の人選は三役に任せる
7月23日	まちづくり計画策定事前打ち合わせ	WGメンバーと事前協議
10月31日	まちづくり計画WG会議	アンケート項目・内容について協議
11月27日	まちづくり計画WG会議	アンケート項目・内容について協議
2013年 1月23日	まちづくり計画策定委員会	アンケート内容・アンケート調査依頼について協議
2月15日	まちづくり推進委員会役員会	経過報告・アンケート調査依頼について
3月 4日 ~3月8日	アンケートの回収	
3月21日 ~4月 1日	アンケートの集約	ボランティアによりデーター入力
4月15日	まちづくり計画WG会議	アンケート集約結果と、今後のまとめ方について
4月22日	まちづくり計画策定委員会	アンケート結果とまとめ方について
4月25日	まちづくり推進委員会総会	アンケート結果の報告
5月 9日	まちづくり三役会	アンケート結果をもとに集約の方向について
5月14日	まちづくり計画WG会議	回答意見を項目ごとに分類
6月 8日	「すみよいあしだのさとづくり協議会」総会	アンケート結果を学習教材とする
7月19日	まちづくり計画策定委員会	住民学習用教材について協議
7月25日	住民学習事前研修	アンケート結果を基に事前研修
8月24日 ~9月28日	住民学習会	各町内会で話し合い学習会
2月18日	まちづくり三役会	住民学習会で話し合われた内容の集約
2014年 4月25日	まちづくり推進委員会総会	
12月24日	まちづくり計画WG会議	アンケートの活動項目ごとに事業計画の協議
2015年 1月16日	まちづくり計画WG会議	アンケートの活動項目ごとに事業計画の協議
1月30日	まちづくり計画WG会議	アンケートの活動項目ごとに事業計画の協議
3月 2日	まちづくり計画WG会議	アンケートの活動項目ごとに事業計画の協議
4月28日	まちづくり推進委員会総会	まちづくり計画の承認

(3) まちづくり計画アンケートのまとめ

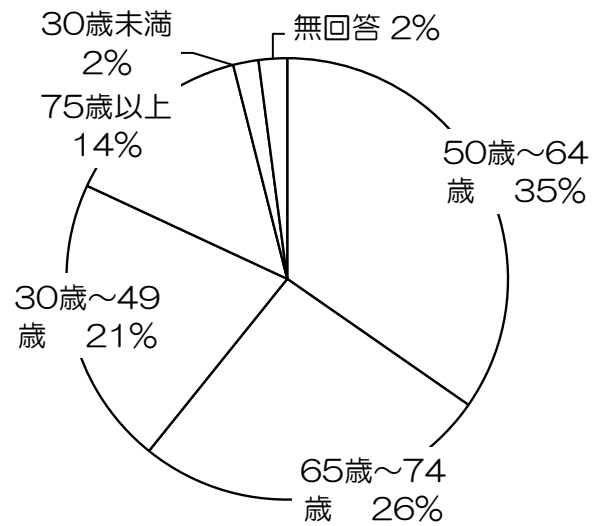
回答率106%（回答数/町内会加入世帯数）

◆回答をいただいた方◆

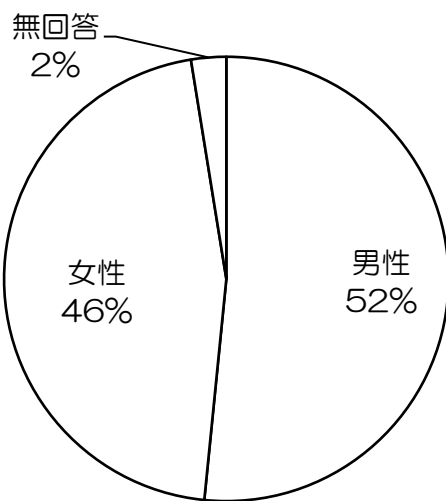
(問1) お住まい （回答数：1295）



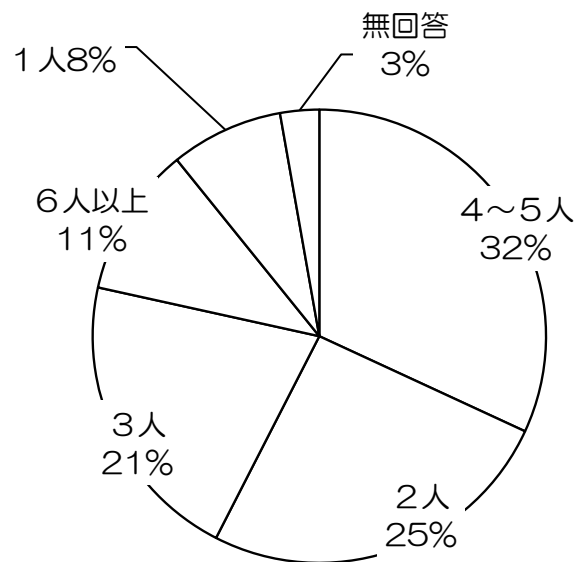
(問2) 年齢 （回答数：1295）



(問3) 性別 （回答数：1295）

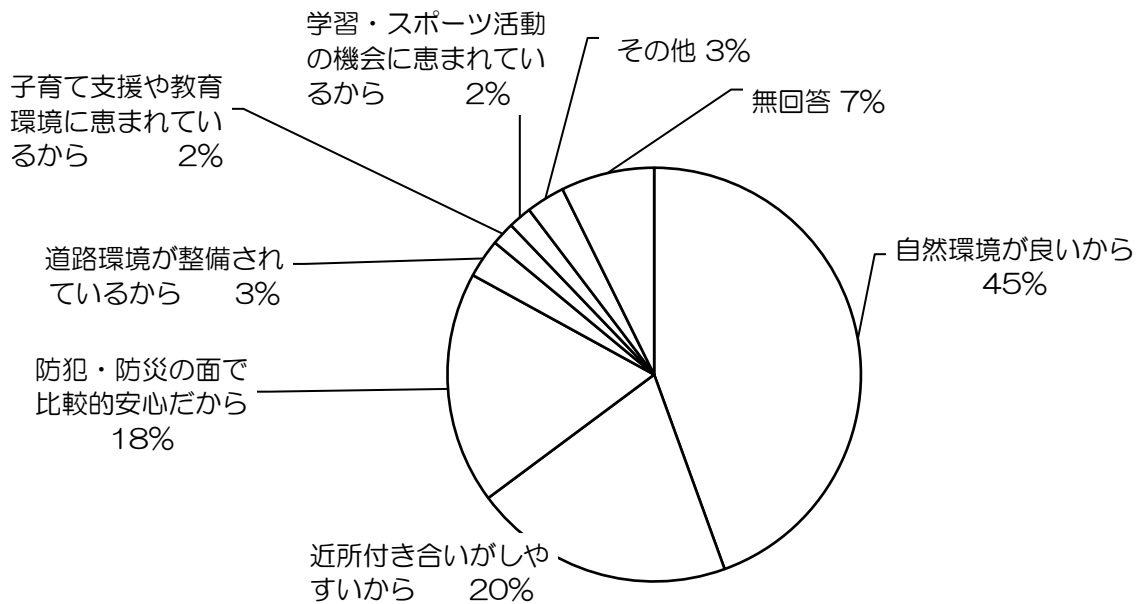


(問4) 家族の人数 （回答数：1295）



◆福相学区への思い◆

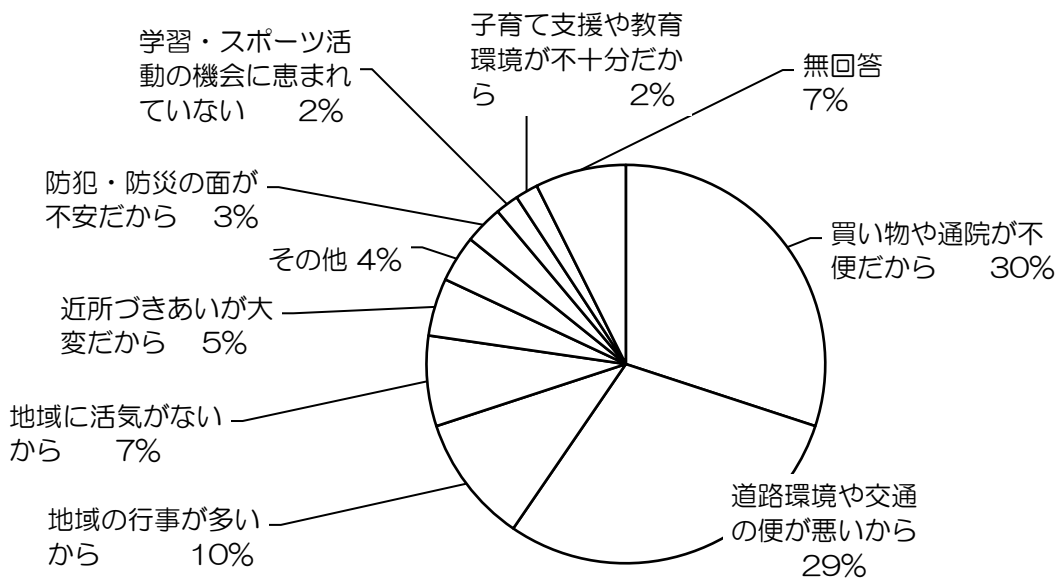
(問5) 福相学区が住みやすいと感じることは为什么呢？ (回答数：1916)



※その他の主な意見

- ・住民のあいさつがとてもよくできている。特に子どもたちは大きな声で気持ちが良い。
- ・子育てに大変良い環境だと思う。
- ・人柄が良く、とてもやさしくしていただいている。感謝です。

(問6) 福相学区が住みにくいと感じることは为什么呢？ (回答数：2114)

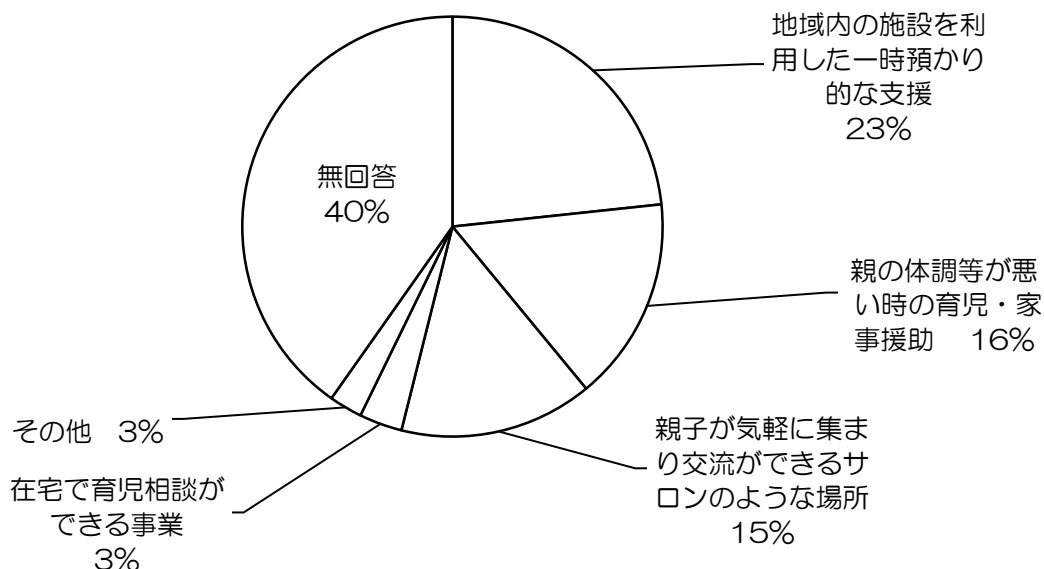


※その他の主な意見

- ・ずっとここに住んでいる家族は良いが、新しい人を受け入れる体制が狭い。
- ・道路整備の遅れ、緊急車両が入りにくい。公共下水道整備の遅れ、テレビ受信状況・インターネット環境が悪い。
- ・地域の行事が多すぎる。若い人の意見が出にくい。

◆安心・安全について◆ 1

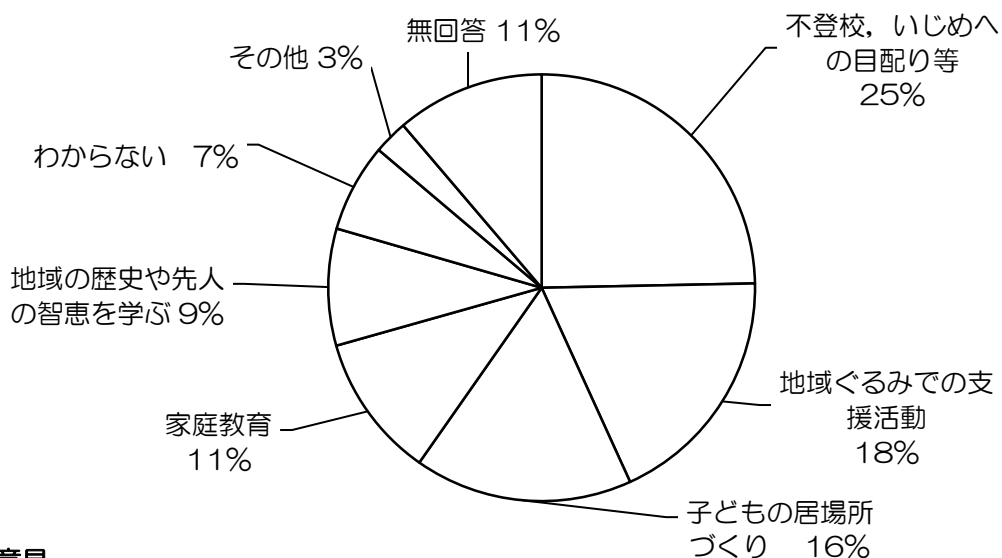
(問7) 就学前の子どもがいる親にとって、あったらいいと思う支援事業はありますか？
(回答数：1330)



※その他の主な意見

- ・就学前の子どもたちの交流、遊び、相談のできる場所があると子育て中の若い母親は助かる。
- ・大きいグラウンド、遊具つきの公園、子ども向けの施設など室内外で安心して遊べる場所。
- ・子どもからお年寄りまで一体となって出来る行事や施設。
- ・地域で暮らすためのマナーを守る意識を若い親の方々に持ってもらう為の支援。
- ・親が家を留守にしなければいけない時、2～3時間でも対応できる一時預かり施設。

(問8) 子どもたちに対して、学校や地域はどんなことに力をいれたら良いと思われませんか？
(回答数：1852)

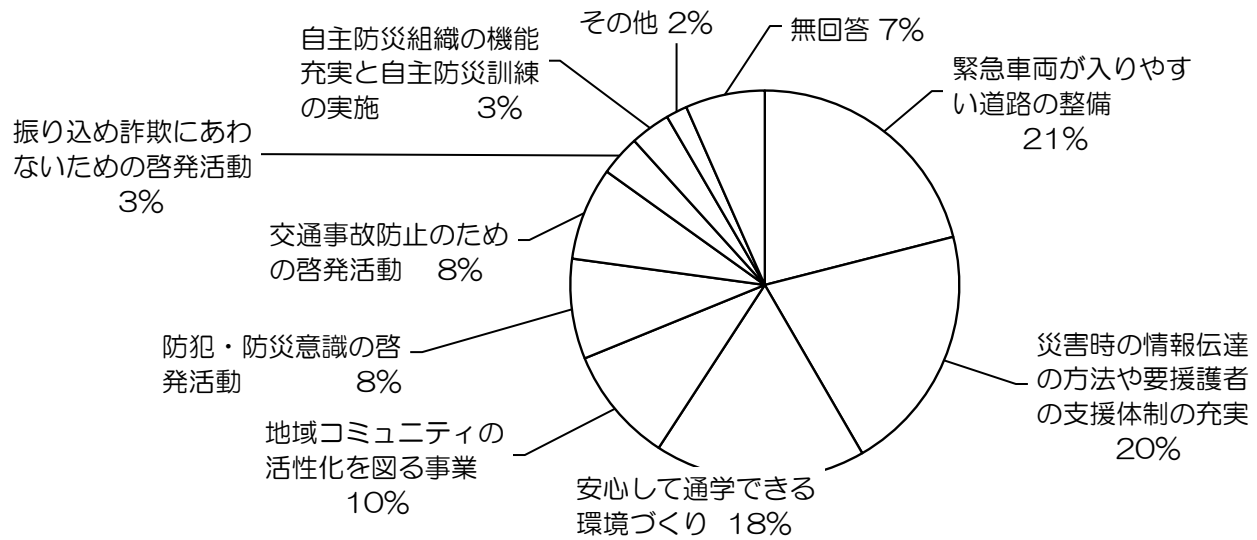


※その他の主な意見

- ・人を助け、親を助け、子どもたち一人ひとりが必要とされている事が実感できる活動があれば良い。
- ・地域の歴史などを家庭で教えられること。ボランティア精神を教育すること。
- ・教育の基本の道徳をしっかりと教えてほしい。
- ・小学校の行事にでも学区民が参加し、皆で見守り型の参観にしたりする。

◆安心・安全について◆ 2

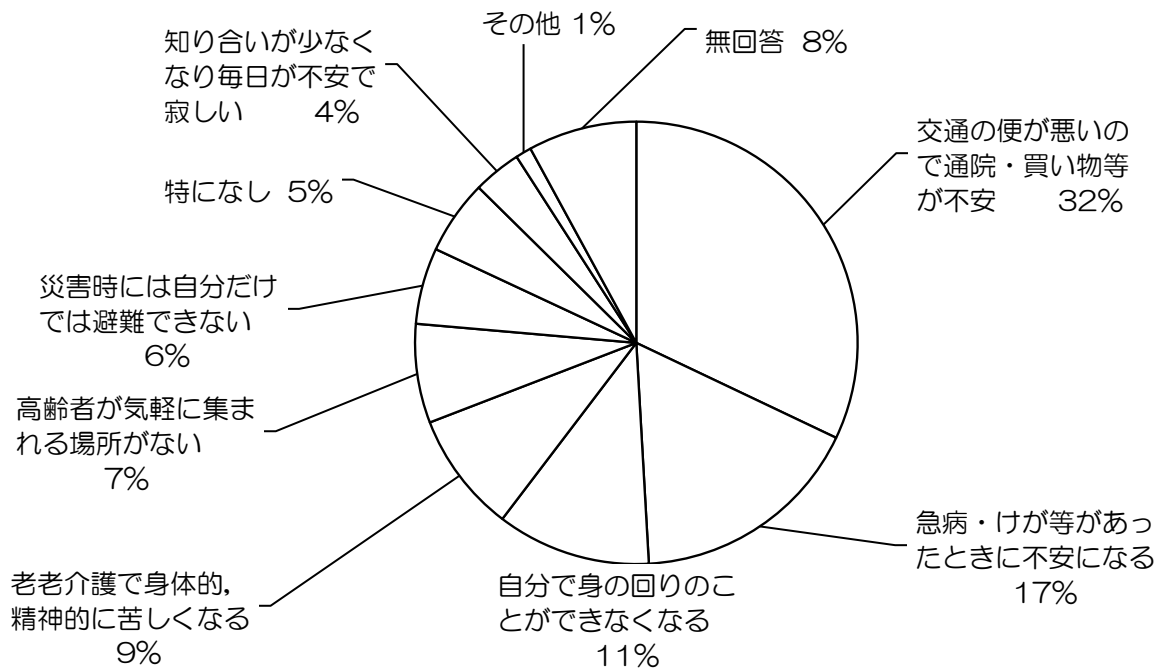
(問9) 安心・安全なまちづくりのために、重点的に取り組むべきものは何だと思えますか？
(回答数：2041)



※その他の主な意見

- ・現在災害時の緊急支援の取り組みを計画しているが、市行政より各地域の避難場所に最低限の避難支援物資の配布をお願いしたい。
- ・一部の役員が情報を握っているのではなく、皆で情報を共有し、子育て支援・高齢者支援等をしていき、普段から顔見知りを増やすことでいろんな事件・事故が防げる。

(問10) 高齢者の日常生活において、どのような問題がありますか？
(回答数：1990)

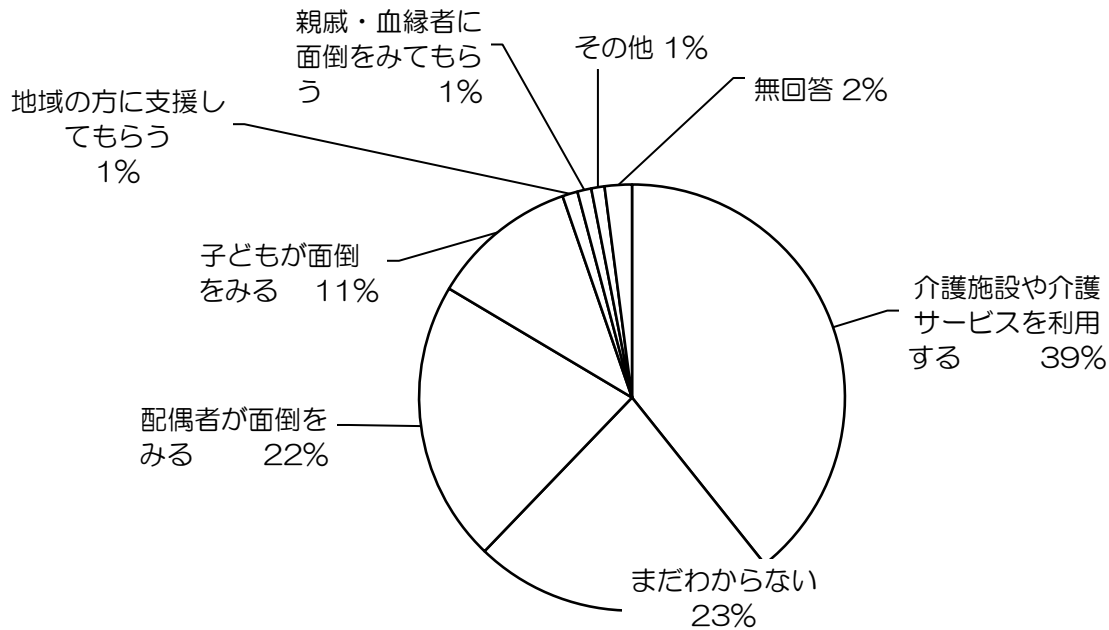


※その他の主な意見

- ・介護施設は増えているが、介護年数が長くなってくると家族全員の精神的・肉体的ストレスが増える。
- ・安い金額で利用できる介護施設を増やして欲しい。今の時点では高すぎてショートステイ等長期間は難しい。
- ・高齢化が進む中、路線バスなど交通の便が悪くなり行動範囲が狭くなる恐れがある。

◆安心・安全について◆ 3

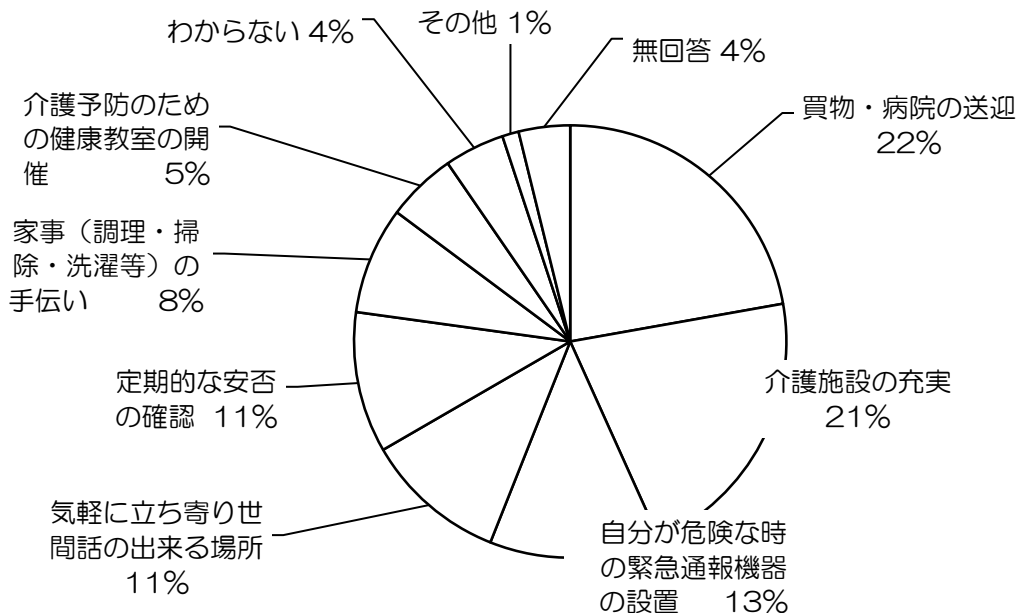
(問11) あなたに介護が必要になった場合、どのような方法があると思いますか？
(回答数：1988)



※その他の主な意見

- ・子どもたちには負担をかけられない。
- ・家族・親戚がいてもみてもらえないとは思えない。
- ・住み慣れた環境で過ごすのがもっとも良い。地域密着型の在宅支援が望ましい。

(問12) 今後どのような福祉サービスが必要と思いますか？ (回答数：2108)



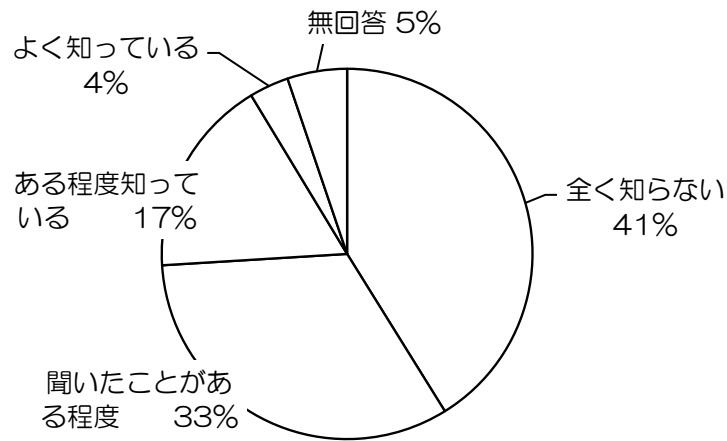
※その他の主な意見

- ・定期的な安否確認は必要だと思うが、今までのように民生委員だけにまかせるのではなく、行政・地域との連携が必要だと思う。
- ・地域包括支援センター等との協議・双方向ネットワークの早期実現。
- ・介護する立場になった時に、こんな時どうすれば良いのかななどの講習会があったら良いと思う。
- ・特別養護施設等の安い金額で利用できる介護施設をふやしてほしい。

◆まちづくり・交流について◆ 1

(問13) 福山市では2006年から、市民と行政がお互いの責任と役割を分担しながら地域の活性化を図る「協働のまちづくり」を進めています。

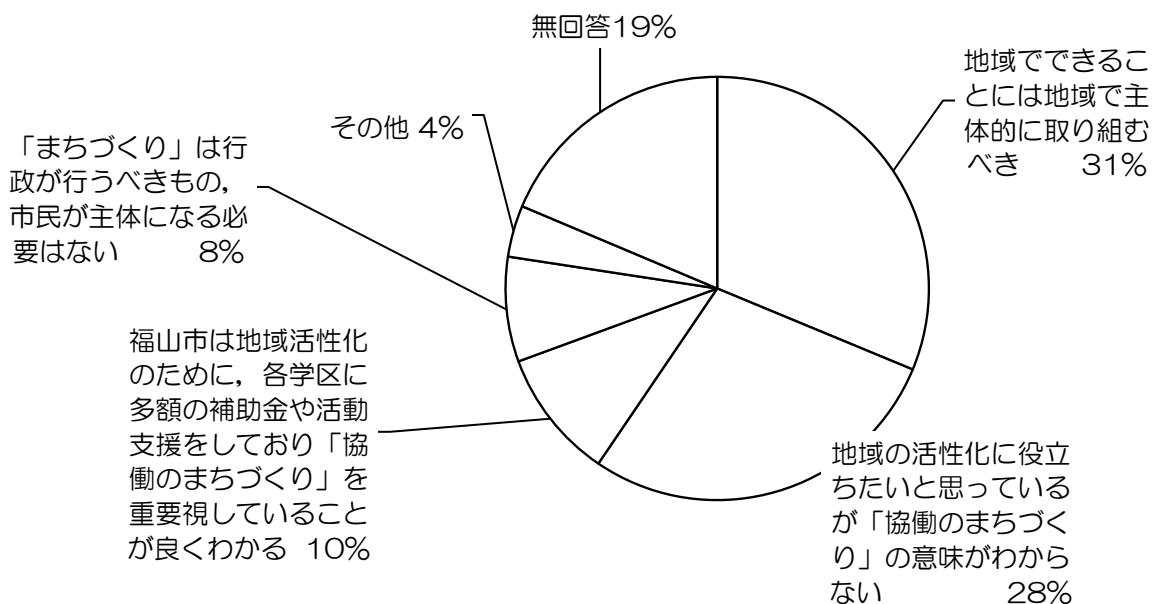
福山市協働のまちづくり指針が策定され、この指針に基づく事業に対し補助金等の支援があり、各学区ではこれを有効に活用し活発な活動が展開されていますが知っていますか？
(回答数：1305)



※その他の主な意見

- ・補助金はある程度必要だと思うが、その前に各個人が自分の住んでいる町をどんな町にしたいかイメージさせることが大切。いつも受身では無く住民が積極的に動くような働きかけを行政中心でしてほしい。
- ・協働のまちづくりの内容について十分周知されていない。詳しいパンフレットを各戸に配る。
- ・「協働のまちづくり」についての活動が全く分からない為、福山市が重点政策として補助などの活動が行われていることを初めて知った。

(問14) 福山市の重点政策に揚げられている「協働のまちづくり」についてどう思いますか？
(回答数：1523)

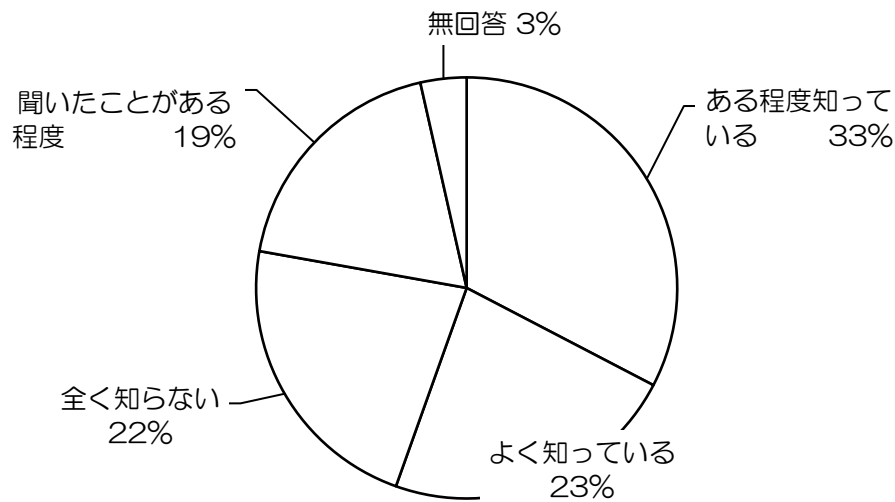


※その他の主な意見

- ・「協働のまちづくり」が行事を主体としたものになっているように思える。人口減少、特に若い世代が減少している中で行事運営に負担感が増してくることも今後予想される。行事ばかりに目がいかぬよう、行事に参加し難い人も共に暮らせるまちづくりを望む。
- ・「まちづくり」活動には賛同するが、何をすることが大切なのかわからない。
- ・何もかも地域がすれば良いと言う訳ではない。行政と地域が連携をとりながらの取り組みが必要。

◆まちづくり・交流について◆ 2

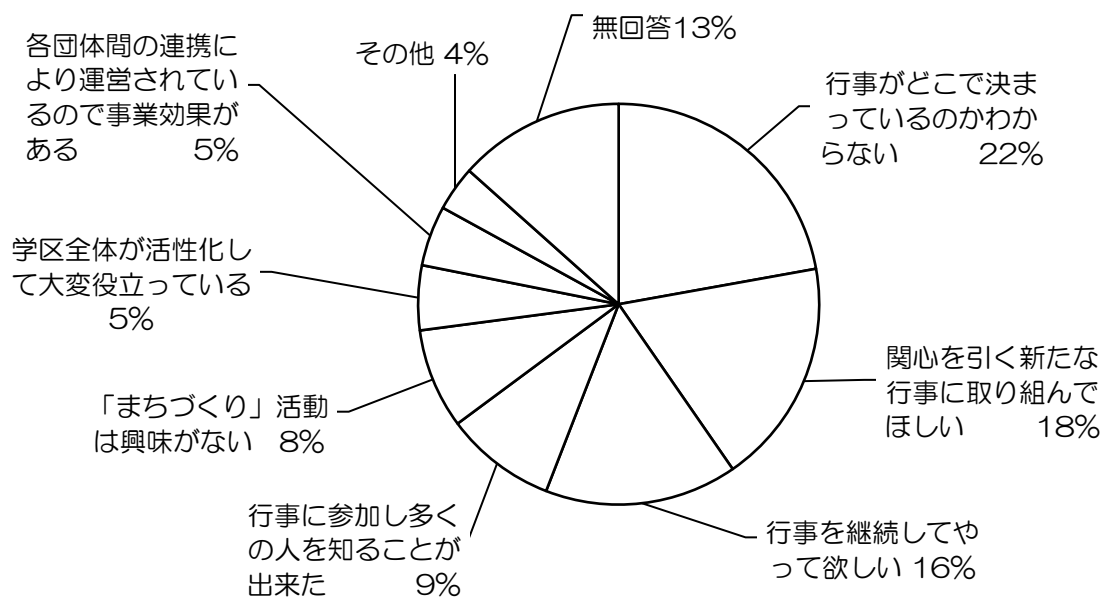
(問15) 福相学区では「協働のまちづくり」の補助金を利用して「盆踊り大会」「作品展示会」「運動会」などが行われていますが、知っていますか？
(回答数：1302)



※その他の主な意見

- ・行事には参加しているが、補助金が使われていることは知らなかった。利用できる行事は利用したい。
- ・地域に密着した補助金の使い方を考えてほしい。
- ・「まちづくり」の内容について充分周知されていない。成果の上った具体的事例を示しながら事業の推進を促す。

(問16) 福相学区の「協働のまちづくり」事業についてどう思いますか？
(回答数：1687)

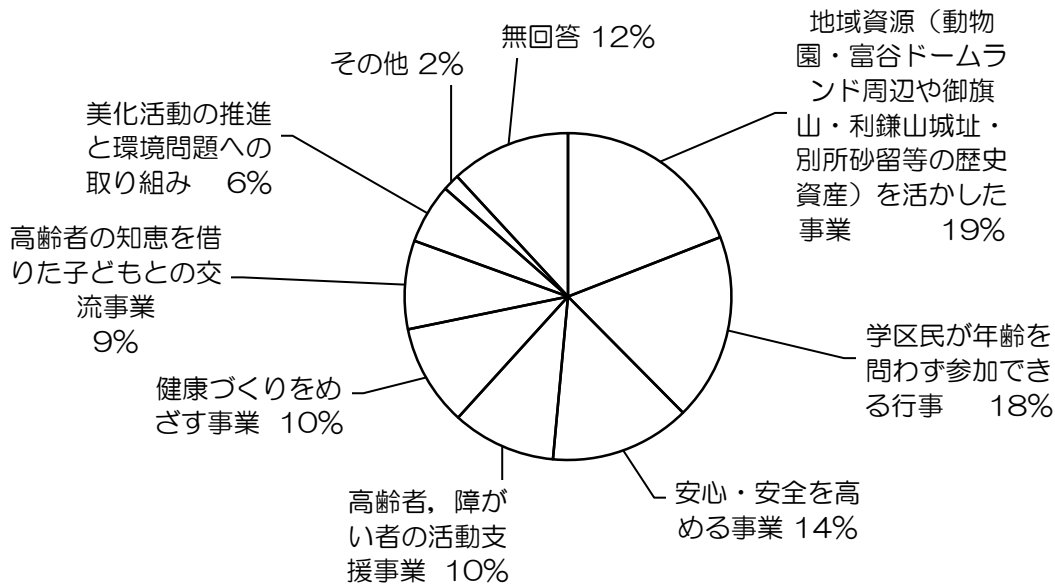


※その他の主な意見

- ・行事があることは良いことだが、役員さんやお世話する人の負担も大変に思う。特に高齢での役員。
- ・ボランティアの大切さを啓発すべき。
- ・運動会・敬老会・作品展示・盆踊り大会等マンネリ化の傾向もあり、少子高齢化が進んでいるなかで検討していく必要がある。若者にもっと参加してもらいたい。

◆まちづくり・交流について◆ 3

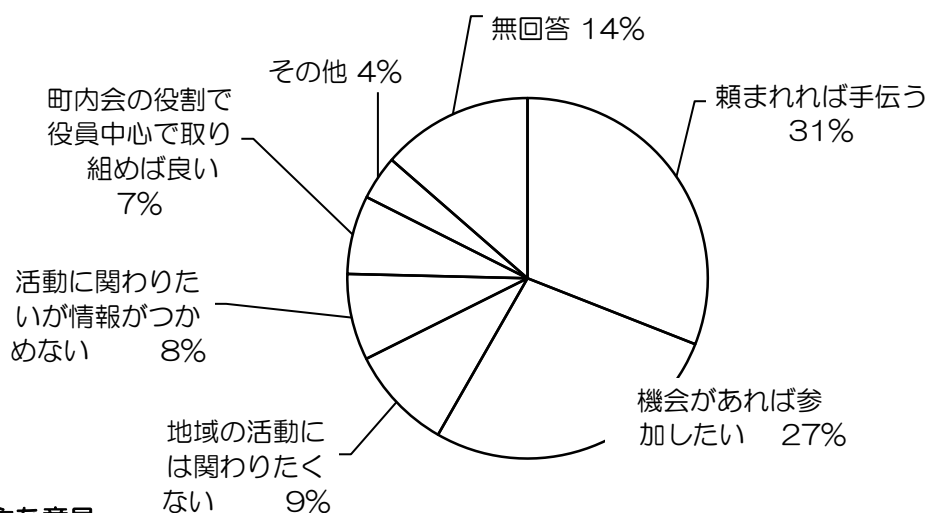
(問17) 福相学区の活力アップのためには、どんなイベントや事業が良いですか？
(回答数：1871)



※その他の主な意見

- ・動物園のある町としてのアピールをし、動物園付近をもっと充実させ活気づけば良い。
(青空市場・道の駅のようなもの)
- ・田舎ならではの自然を活かし、まずはこの町の子どもたちが楽しめる環境を作れたら良い。
- ・砂留の作業を通じて、他のボランティアの方との連帯感と感動を覚えています。

(問18) 福相学区で行われている、さまざまな「まちづくり活動（盆踊り大会・運動会・作品展示会・ボランティア活動など）」の企画・運営に参加したいと思いますか？
(回答数：1560)

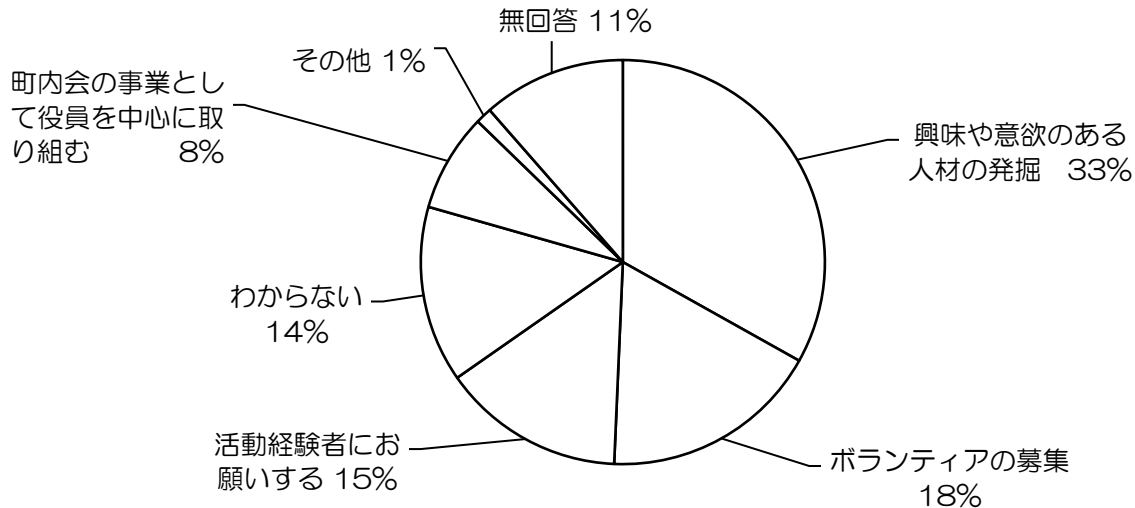


※その他の主な意見

- ・参加したいと思っているが、なかなか参加出来ない。(仕事が忙しい、高齢で体力が無いなど)
- ・活動には参加出来るよう努力している。身体の続く限り参加したい。
- ・興味があるものには参加したい。
- ・参加が割り当てられるのは困る。

◆まちづくり・交流について◆ 4

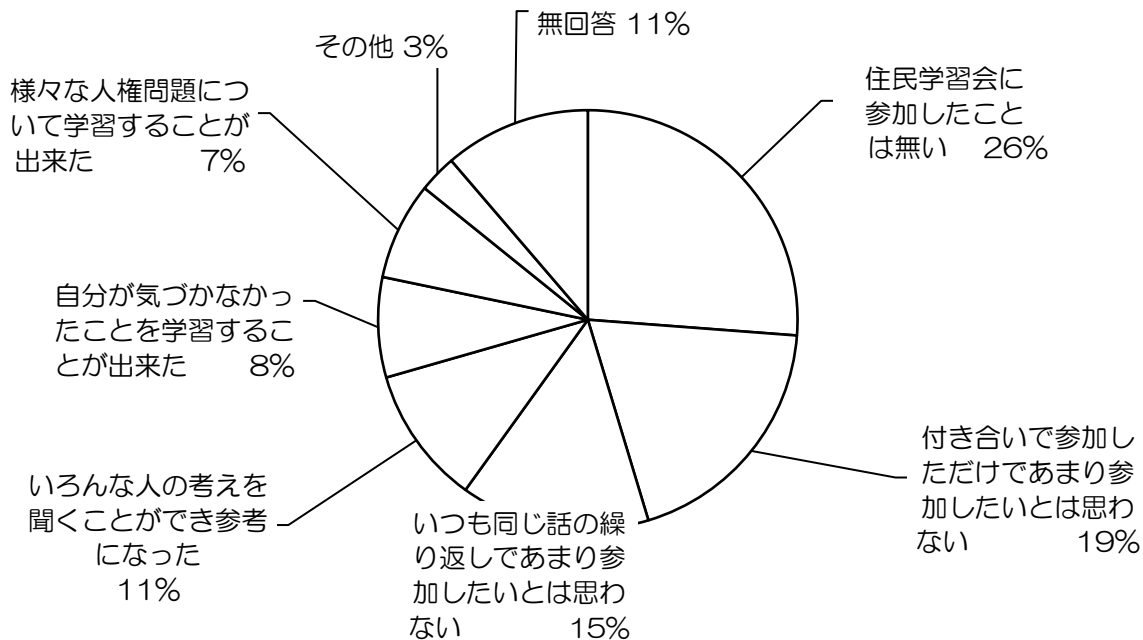
(問19) 福相学区の「協働のまちづくり」を進めるためには、人材育成（リーダー・ボランティア等）が欠かせませんが、どのような方法が良いと思いますか？
（回答数：1389）



※その他の主な意見

- ・役員だけでなく、広く募集すべき、いろんな職種をあつめて意見を出し合う。
- ・退職後の元気な60代をお願いする。
- ・運営企画には、いくらかの専門性を必要とする。元行政職員等々の専門的経験を活かす。

(問20) 「住みよいあしだのさとづくり」をめざして、毎年住民学習会が行われていますが、どう思いますか？
（回答数：1542）



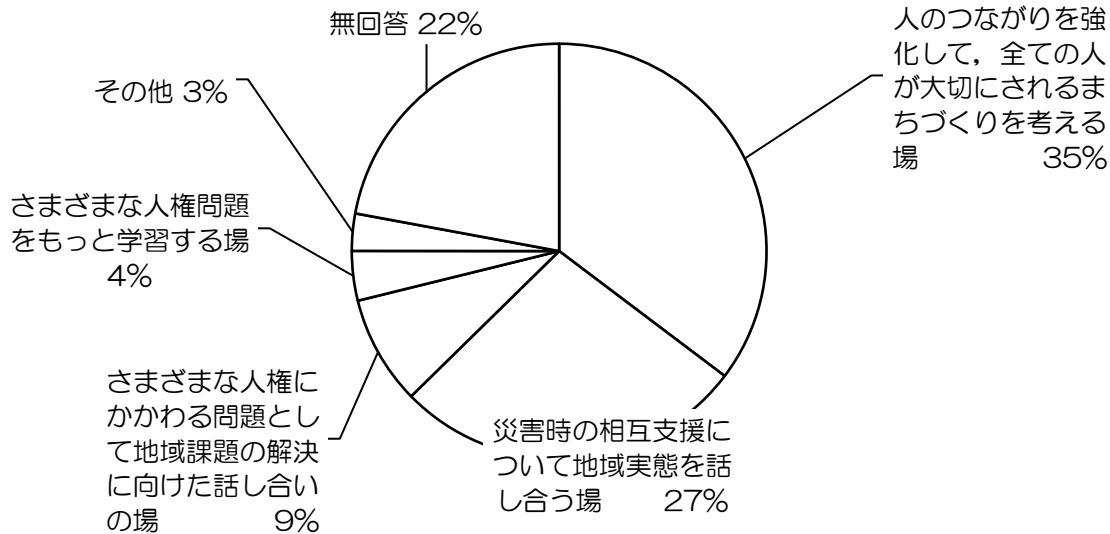
※その他の主な意見

- ・役員ばかりの参加になっている。参加が少なくて残念。
- ・十分時間をかけたので、もう終わりにしたら良いのでは。
- ・住民学習会が行われていることを始めて知った。告知を広くして欲しい。
- ・子どもたちを大切に、そして人を大切に思うことによりすべてが良い方向に進むと思う。

◆まちづくり・交流について◆ 5

(問21) 住民学習会をどのような学習会にしたら良いと思いますか？

(回答数：1553)



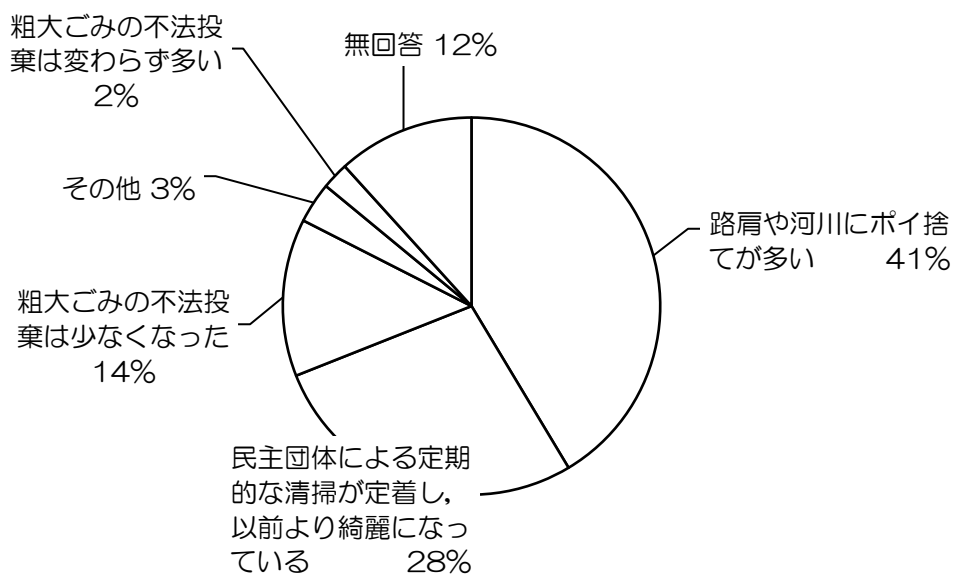
※その他の主な意見

- ・身近での人権学習も重要かと思う。人権問題が無視され、いやな思いをすることが多々ある。
- ・人権という言葉を使うと参加しにくい。道徳を中心としてほしい。近年道徳に欠けることが多い。

◆環境について◆ 1

(問22) ごみの不法投棄について、どう思いますか？

(回答数：1348)



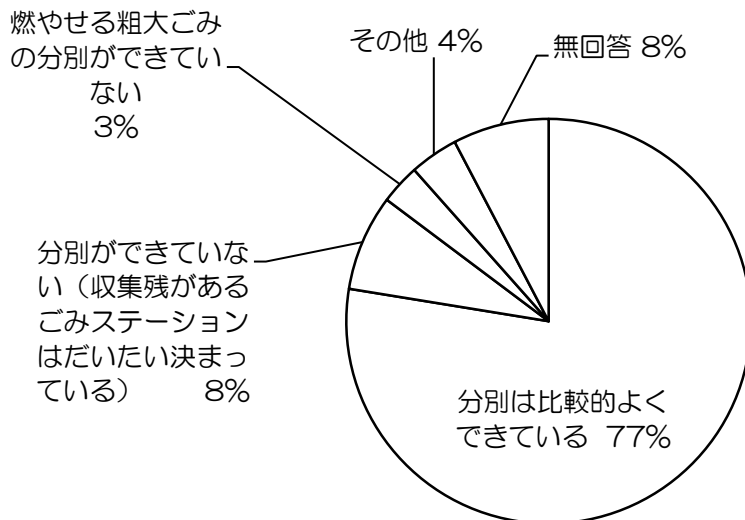
※その他の主な意見

- ・缶など捨てる人はわかっているが言えない。
- ・モラルの問題。集会の場等で住民意識の関心を深める。

◆環境について◆ 2

(問23) ごみの分別について、どう思いますか？

(回答数：1315)

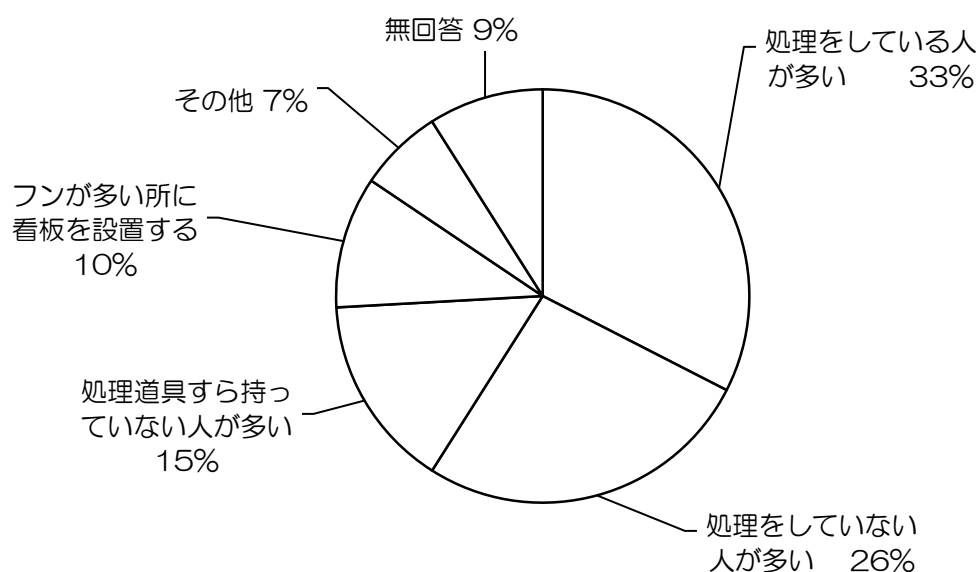


※その他の主な意見

- ・ゴミステーションの掃除をせずに、次にまわす人がいる。
- ・ゴミステーションが世帯の割りに狭い。カラス、猫などの被害がある。
- ・家庭ゴミ・廃材等焼き、迷惑していると言えない。

(問24) 犬の散歩をしている人が多くなりましたが「フン」の処理についてどう思いますか？

(回答数：1368)

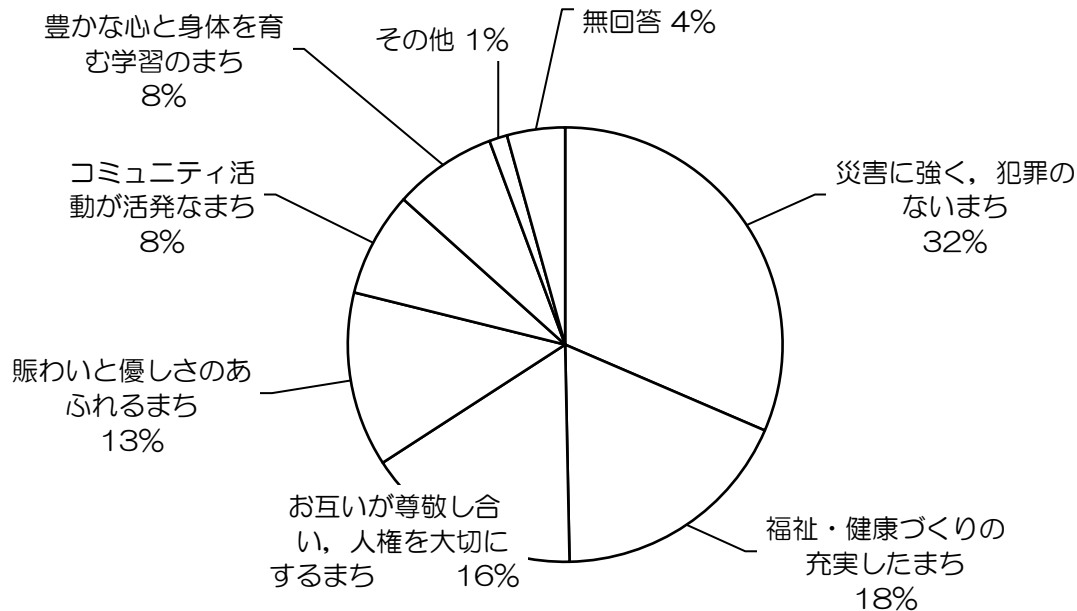


※その他の主な意見

- ・看板設置より飼い主の理解要請。
- ・犬のフンは家でさせて散歩するのが良い。

◆将来像について◆

(問25) 福相学区が将来どんなまちであってほしいと考えますか？
(回答数：2015)



※その他の主な意見

- ・子ども達が安心して、将来ずっと住みたくなるような町になったら良い。
- ・下水道・光ケーブル・受信状況改善等環境が整い、若い人が住みやすい魅力のある町になってほしい。
- ・公民館などの公共施設の有効利用。

◆その他◆

(問26) あなたの思いを自由に記入してください

主な意見

- ・まずは、それぞれの地域や住民のことを考えた楽しいまちづくりにしてほしい。
- ・高齢者の方が多くなるなか、病院への通院・買物等に出かけるための小型バスや送迎バス等があると良い。(高齢者や子どもが生活しやすい環境)
- ・過疎化の問題。
- ・道が狭い(緊急車両が入らない)。通学路の整備をしてほしい。
- ・道路を拡張しているのに繋がらないのが残念。
- ・夜道が暗い。外灯を増やして防犯対策・安全確保に取り組んでほしい。
- ・若い人がもっと増えてほしい。年配の人の協力で若い人が中心となって活性化し、住みやすいまちづくりに力を入れてほしい。そうすれば活気が出て子どもたちも増え、老若が安心して暮らせるのではないのでしょうか。
- ・町連や公民館等もっと情報を公開するように勤めるべき。
- ・いろんな行事は活動が固定化し一部の参加になっているものもある。もっといろんな意見を吸い上げて計画を立てる必要がある。

たくさんの貴重なご意見をいただきました。

(4) まちづくり活動の様子



里山・里地魅力づくり事業（砂留見学会）



里山・里地魅力づくり事業（砂留見学会）



里山・里地魅力づくり事業（富谷ドームランド花壇）



地域福祉活動（消火訓練）



地域福祉活動（料理教室）



地域福祉活動（抹茶教室）



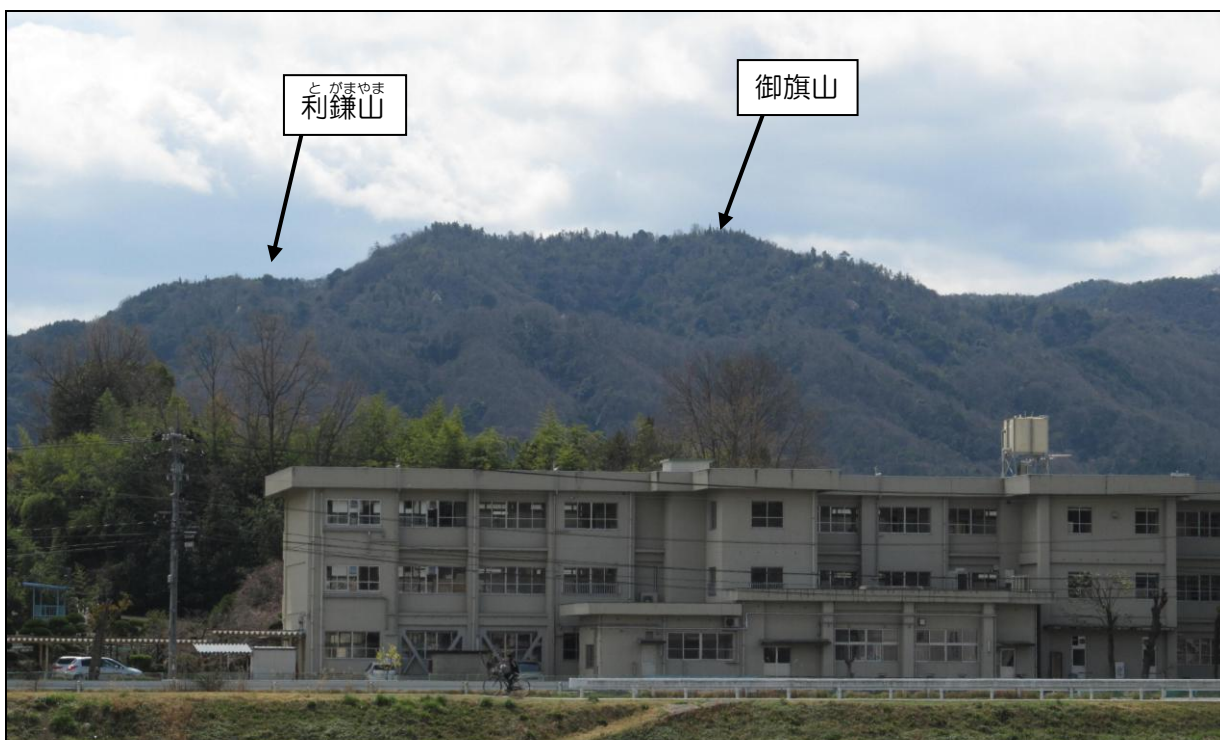
世代間交流事業（そうめん流し）



環境美化活動（水辺ウォッチング）

先生・・・小学校の校歌にある御旗山はどの山と聞かれる・・・
おはたやま

福相小学校より御旗山を望む



卒業を記念し、今年で6回目となる御旗山・利鎌山登山（卒業生とボランティアの皆さん）





福相学区まちづくり計画

2015年（平成27年）4月

発行 福相学区まちづくり推進委員会

福山市芦田町福田 2479-12

084-958-3850